

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五
藤枝市藤枝四一七
大慶寺 大場正昭
FaxTel. 〇五四-六四一-二二九
〇五四-六四四-六二六
ohba@enmyozan.org

本年度初盆経のお知らせ

■ 7月初盆のお宅は6月20日頃に

■ 8月初盆のお宅は7月10日頃に

平成30年初盆経の日時を「御施餼鬼会案内」に同封致します。

また、日時でご希望がある場合は、お早めにご連絡頂ければ、できるだけ調整させて頂きます。

アシスト募金協力者（順不同・敬称略）

西村幸三 杉山元一 榎野かね 神保昌志 土屋恵司 二見有 松浦弘子 和田悦子 鈴木昇 小野田滋 高橋和子 杉原繁司 村中美登里 山本好子

アシスト募金は、静岡県中部宗務所を通じて、国内外支援のために使われています。

今までに、ラオス学校建築、スリランカ寺院復興支援、能登半島地震、中越沖地震、東日本大震災、熊本震災等の支援として使われました。募金箱は大慶寺にあります。ご協力をお願い申し上げます。

今月で今年も半年

気づいたら、今月で今年も半年になる。世間では、森友学園、加計学園、大相撲、レスリング、アメフトと話題を欠かさなかった。テレビでも、連日報道され、どこのチャンネルを見ても同じような内容で、正直辟易する。

いづれも日本人が昔から持っていた、「おてんとうさまが見ている」という素直な実直な姿勢が全く無くなってしまう。

その時代に生きてくる人が時代の正義らしきものに翻弄されるのは無理ないことだが、百年後の未来の人が、平成の時代の評価を想像すると、情けなくなる。今年の後半には良い話を聞いたものだ。

さて、話は変わるが記念事業では、先月28日に庫裡の上棟式を行った。本堂の耐震改修工事も順調に進んでいる。写真は、縁の下の基礎工事である。

大慶寺の本堂は、大きな檜の通し柱で支え



られている。その通し柱の基礎改修工事の写真である。

通し柱の基礎は、一辺70cm位のコンクリート。コンクリートと言っても鉄筋が入っていない脆弱なもの。正直、大地震が来たら持たない。

そこで今回は一回りも、二回りも大きいコンクリートの基礎を打ち直し、太い鉄筋を通して頑強なものにした。

同じように作り直した基礎が10数カ所です。「かなり頑強なものになった」と実感。前号で説明した貫の復元も加わり安心度が大幅に増した。

更に本堂内部では、耐震強化のため、漆喰塗りの耐震壁を11枚増やした。壁を増やした分、暗くなるので、光の強弱をつけられる照明を追加した。

そして、先月末には、大型エアコンを6台設置。これで今年の御施餓鬼会は清涼の中で営まむことができる。